

ごあいさつ



会長

森田 昇



理事長

平岡 浩房

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より青梅信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

創立101年目という新たなスタートに立った2022年度、当金庫にとって初めて東京23区内への出店となる阿佐ヶ谷支店をオープンいたしました。地域金融機関として、中小企業の成長・発展と皆さま方の豊かなくらしの実現に貢献することを使命に活動してまいります。

本年も、当金庫へのご理解を一層深めていただくために、「2023 Disclosure」を作成いたしました。当金庫の経営方針や業績、地域社会貢献活動への取り組みにつきましてご報告いたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2022年度の日本経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ情勢や円安によるエネルギー・原材料価格の高騰など、依然として不安定な経済環境となりました。金融業界につきましては、海外で加速する金利の上昇や為替変動への対応など難しい舵取りを迫られるなか、地域金融機関においては、物価高騰や人材不足などの影響を受ける中小企業への経営支援に努めてまいりました。

このような経済環境のもと、当金庫では、お取引先企業への資金繰り支援を最優先課題として取り組んできた結果、貸出金残高は5,214億円(前年度比83億円増加)となりました。預金積金残高は、コロナ禍での自粛ムードや物価高騰により消費支出が控えられたことで8,990億円(前年度比91億円増加)となりました。また、当期純利益31億円を計上し、自己資本比率は11.63%と引き続き国内基準を適用する金融機関に求められている4%を大きく上回る水準を維持しております。これもひとえに皆さま方の温かいご支援の賜物であり、役職員一同心より感謝申し上げます。

2023年度は、中期経営計画の最終年度として、これまで以上に地域やお客さまとの絆を深めるとともに“のめっこ信用金庫”として「地域の成長 輝く未来」に向けて全役職員一丸となり取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月

企業理念

わたしたちは、自然と文化に恵まれたこの地域とともにあって、産業の発展と豊かなくらしの実現に貢献します。

あおしんの役職員全員は、地域金融の担い手として、事業活動を展開するエリアと共生し、この地域で事業展開する中小企業の成長・発展とここに生活する人々が求める豊かなくらしの実現を目指し、あおしんがお客さまに対してお役に立つことを宣言します。

経営方針

信頼

あおしんの経営は、何よりもお客さまの信頼を基盤にしており、それは、「この地域のお客さま」「ここに働く役職員」つまりあおしんを取り巻く人と人との関係を大切にすることであり、その基本となるコミュニケーションを大切にすることです。

中期経営計画

2022年度は「地域の成長 輝く未来」をテーマにした中期経営計画の2年目として、お客さまの課題解決や地域貢献活動に努めてまいりました。

何でも相談できる“のめっこい信用金庫”として、これからも皆さまのご期待に応えられるよう積極的に取り組んでまいります。

重点課題

1. 適切な金融サービスの提供
2. 強固な経営基盤の確立
3. 次世代に向けた人財育成と体制整備

計数目標

	3ヵ年目標(2023年度末)	2022年度実績
自己資本比率	10%以上	11.63%
不良債権比率	3%台	3.84%
当期純利益	20億円	31億円

“のめっこい”とは

もともと「(肌が)すべすべしている」、「(うどんの)のど越しが良い」などを表す言葉で、この「滑らかさ」を人間関係に置き換えて「親しみやすい」という意味でも使われています。

あおしんの
CSR(企業の社会的責任)活動
3～11

2022年度のトピックス
12

2022年度 業績のご報告
13～17

主な業務のご案内
18～22

あおしんの
SDGsへの取り組み
23～24

あおしんが応援する
“美しい多摩川フォーラム”
25～26

会員の意見を反映する総代会
27～28

コーポレート・ガバナンス
(企業統治)の状況
29

リスク管理とコンプライアンス
(法令等遵守)の態勢
30～32

店舗ネットワーク
33～34

組織及び役員
35

資料編/財務諸表
36～50

資料編/連結情報
51～55

資料編/自己資本の充実の状況
56～68

開示項目一覧
69

沿革
70